

2011年3月東北地方太平洋沖地震千葉地区被害調査速報(No. 2)

木更津工業高等専門学校 環境都市工学科 鬼塚研究室
土木学会関東支部 東北地方太平洋沖地震千葉地区 緊急災害調査団

団長：鬼塚信弘（木更津工業高等専門学校）

団員：金井太一，刀根航平，在原淳（木更津工業高等専門学校）

調査地点3：九十九里町，旭市（2011年3月16日）

No. 3-1 九十九里町海岸部の送水管

九十九里町小関にて，海岸部に近い送水管が落下していた。



No. 3-2 旭市三川の田んぼ

旭市三川にて，約700m離れた田んぼまで及ぶ津波の被害があった。また，強い地震が起こり，噴水や歩道の浮上りがあるなどの液状化の痕跡もあった。





No. 3-3 旭市下永井海岸

旭市萩園の下永井海岸にて、レンガが流され、建物が壊れるなどの津波による被害があった。



No. 3-3 旭市いいおかみなと公園

旭市いいおかみなと公園の歩道が陥没し、自転車道のポールが曲がるなどの津波による被害があった。



No. 3-4 旭市飯岡の住宅

旭市飯岡の住宅が津波により被災した。



No. 3-4 旭市飯岡の海岸堤防

旭市飯岡の自転車を兼ねた海岸堤防が津波により崩壊した。



No. 3-5 旭市漁港

旭市漁港の船が津波により転覆するなどの被害を受けた。



No. 3-6 旭市広原の国道 126 号沿い

旭市広原の国道 126 号沿いに、電柱が多数傾斜していた。レストランが液状化の影響で一部損壊し、
医院や薬局では浄化槽のマンホールが最大 100cm 浮上するなど、液状化の痕跡が多数見られた。





(文責 鬼塚信弘)